

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	福島町道路照明LED化整備事業	福島町	1,000,000	1,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福島町道路照明LED化整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		福島町		
交付金事業実施場所		福島町字三岳地区		
交付金事業の概要		地域の省エネの推進のため公共施設における率先した省エネルギー機器の導入を行なう。既存道路照明7基をLED器具に改修。		
総事業費		1,000,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	1,000,000 0 1,000,000
交付金事業の成果目標		「福島町地域省エネルギービジョン」を策定(平成21～22年)し、公共施設における率先した省エネルギー技術の導入は、町民や事業者から町として取り組むべき施策として要望の高いものであり、地球温暖化対策や行政コストの削減を図るために省エネルギーの推進は、今後のまちづくりには、必要不可欠な取り組みです。本ビジョンで計画付けた内容を町が率先し、町民・事業者にアピールすることで環境行動の動機付けを行い、地域全体として省エネルギー化を推進していくこととしております。具体的には町の第5次総合計画(H28～31年度)において、道路照明12基のLED化を進めることとしており、今年度はそのうち7基の改修を行い、消費電力量の削減を目指します。また、この取り組みにより発電施設の設置や運転の円滑化に係る地域の理解を促進します。		
交付金事業の成果指標		本交付金事業を活用し、町が率先して省エネルギー行動に取り組むことで町民や事業者へ省エネルギー行動の推進に向けた意識づくりを図り、平成29年度においても町における省エネルギーの推進、町民・事業者へのアピールを継続します。道路照明7ヶ所を改修し、消費電力の7割程度の削減を指標とします。		
交付金事業の成果及び評価		「福島町地域省エネルギービジョン」に基づき、福島町字三岳地区の公営住宅周辺の道路照明7基をLED化することにより、現在の消費電力使用量を7割程度減少させられると想定しています。改修工事は10月に完了しましたが、事業成果は、短期間での確認は困難であることから1年間を通して使用電力量の状況を確認し、成果確認を実施し再評価します。なお、当該事業の成果及び実施事業【省エネルギー行動】については、町広報を利用し町民及び事業者へアピールし、地域全体で省エネルギー化を推進するとともに、今後も、地域の理解促進を図っていくこととしております。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
道路照明のLED化工事		見積もり合わせ	(有)花田電気 代表取締役 花田浩二	1,172,880
計				1,172,880
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度
				H29

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。